職場見学で早期離職防止

旭川出身・西野さん 高卒予定者向けに事業

企業とマッチング 自身のギャップ経験生かす

旭川市出身で、空知管内上砂川町在住の西野綾夏さん(27)が、高校卒業予定者の就職定着を支援する事業「高卒就職マッチングサービスにか」を始めた。入社後にギャップが生まれやすい高校生に働くイメージを持ってもらうため、職場見学を多く取り入れているのが特徴だ。高校卒業後に働き始めて戸惑った自身の経験も踏まえ、「自分らしく働けるサポートをしたい」と話している。

「職場のみんなは優しくて、力仕事も少ないですよ」。8日に開かれた旭川市の防水工事会社「アイ・ディー・エフ」の職場体験会。参加した高校生が、市街地のビル屋上の施工現場で防水材を床に塗る作業を見学し、20代の若手社員から社内の雰囲気や業務内容の説明を受けた。

建設業を志望する旭川龍谷高3年の夏井孝規さん(17)は「説明会で話を聞くよりもイメージが深まった」と話した。

事業を始めた背景には新規高卒者の離職率の高さがある。北海道労働局によると、道内の新規高卒者の3年以内の離職率（2023年3月時点）は全国平均を6・9ポイント上回る43・9%。西野さんは「18歳でイメージに合った企業を選ぶことは難しい」と分析する。

自身も市内の高校を卒業後に道内の金融機関に入った。安定したイメージがあり、家族の勧めもあって就職先に決めた。一方、実際の業務内容を詳しく知らぬまま働き始め、ギャップを感じながらも悩みを打ち明けられなかったという。

上砂川町の会計年度任用職員として働く傍ら、「出身地の高校生が安心して働ける環境をつくりたい」と今年5月に事業を始めた。

事業では、高校生向けの職場体験会を開くなど、売り手市場の中で人材確保が難しい中小企業の採用を支援する。採用が決まった人に対する入社前後の相談にも乗る。

現在、旭川市内4社の採用支援を担っている。

今後は同市以外の上川、空知両管内にも事業展開する考えという。西野さんは「将来的に道内全体の高卒者の早期離職を防ぐサービスに育てたい」と語る。（渡辺愛梨）

旭川市の防水工事会社「アイ・ディー・エフ」で開かれた職場体験会で説明を聞く高校生（右から2人目）。西野綾夏さん（左端）も立ち会った

市街地に出没 駆除の流れ共有

旭川中央署や市など訓練

ヒグマが出没した想定で模擬銃を構えて発砲までの手順を確認するハンターら

ヒグマ危機 クライシス

旭川中央署や旭川市などは23日、市街地でのヒグマ出没を想定した駆除対応訓練を、市内中心部を流れる忠別川の河川敷で行った。関係機関から約30人が参加し、駆除までの流れを確認した。

訓練は神居、忠和両地区にまたがる河川敷の広場にヒグマ1頭が出没した想定。市職員らがクマ役となり、警察官1人とハンター2人が一組になって実施した。

住宅が多い地域を想定して、警察官職務執行法に基づく警察官の発砲命令を受けたハンターが模擬銃をヒグマに向けて構え、駆除までの一連の手順を確認した。

旭川中央署の佐々木聡地域官は「実践的な訓練で警察官の判断能力を養うことができた」と話した。北海道猟友会旭川支部の高梨秀二支部長は「駆除の流れを関係機関で共有できた。継続的に訓練する必要がある」と語った。

市によると、本年度の市内でのヒグマ出没件数は22日時点で44件。昨年度は同期間で62件だった。（葉柴陵晴）

旭川の有機トマト「甘い」

大阪・泉大津の親子、収穫体験

地域ぐるみで有機農業を推進する「オーガニックビレッジ宣言」を旭川市とともに行った大阪府泉大津市から親子10人が旭川を訪れ、トマトの収穫などを体験し、有機農業の取り組みを学んだ。

旭川の有機農業を知ってもらおうと両市が企画。20日から3日間の日程で、旭川市内の農場で生産者の話を聞いた。

21日には農業生産法人谷口農場（東旭川町）を訪問した。小関拓哉専務から「化学肥料を使わずにトマトを30年以上育てている」と説明を受けた後、トマトやトウモロコシの収穫を楽しんだ。

採ったミニトマトをその場で頬張った小学6年の古市蒼太さん(11)は「収穫は意外と簡単で、甘くておいしかった」と笑顔を見せた。（葉柴陵晴）

谷口農場のビニールハウスでミニトマトを手でもいで収穫する大阪府泉大津市の子どもたち（伊丹恒撮影）

黒板アート 制作見よう

作家のすずきらなさん きょうから旭川で催し

黒板アート作家のすずきらなさん(30)の作品展示イベントとワークショップが24、25日の両日、旭川市内のギャラリー「旭川ハートベース」（4の8）で開かれる。

24日午後1時半から、すずきさんの作品制作ライブがあり、縦2.4メートル横3.6メートルの黒板に見立てたシートに、パリ五輪の陸上女子やり投げで金メダルを獲得した北口榛花選手（旭川市出身）の姿を描く。25日は午前11時から、入り口のガラス戸に参加者が自由に絵を描くワークショップを行う。

入場無料。希望者は直接会場へ。問い合わせは、旭川ハートベースの西村公一さん、メールnissyartpainter@gmail.comへ。（東桜子）

◆27日に食事のバランス学ぶ講座　旭川市の豊岡中央病院（豊岡7の2）は27日午後1時～1時半、同病院で地域住民公開講座「普段食事のバランスは大丈夫？」を開く。同病院管理栄養士の我妻香奈子さんが晩夏に適した簡単なレシピを提案する。サンプルも用意する。無料。直接会場へ。問い合わせは同病院総務課、電話0166・32・9115へ。

旭川

旭川支社
▷報道　0166・21・2516
FAX21・2517
Eメール
asahik@hokkaido-np.co.jp
ホームページ
http://asahikawa.hokkaido-np.co.jp/
▷販売　0166・21・2533
▷広告　21・2539
▷事業　21・2555
〒070-8720　旭川市4条通9丁目旭川北洋ビル

金曜日は、北海道新聞の生活情報フリーペーパー
道新 ななかまど
毎週金曜日・約17万2千部発行！

病院

（24日）土曜急病当番医

旭川

◇**小児科**▽くさのこどもクリニック＝末広東1の5、52・1151（午後1時～5時）▽市立旭川病院＝金星町1、24・3181（午後6時～9時）

◇**内科**▽やまがた内科クリニック＝豊岡4の6、32・3461（午後1時～5時）▽呼吸器内科・内科とおるクリニック＝豊岡2の7、38・8088（午後6時～9時）

◇**外科**▽梅藤整形外科クリニック＝花咲町6、50・2588（午後1時～5時）▽やまが整形外科クリニック＝東光6の2、39・2210（午後6時～9時）

午後10時から午前8時までは、小児科、内科、外科ともに夜間急病センター＝金星町1市立旭川病院内、25・0297＝へ

▷当番医は北海道救急医療情報案内センター011・221・8699で確認を

企業版ふるさと納税 当麻町に200万円 関西スーパー

【当麻】関西スーパーマーケット（兵庫県伊丹市）は、企業版ふるさと納税で町に200万円を寄付した。

関西を中心にスーパーを展開する同社は2017年から同町産の米を販売している。創業65周年を記念し、農業活性化や自然環境保護に役立てもらう目的で寄付した。

同社の中西淳社長が21日、町役場を訪れて寄付し、村椿哲朗町長が感謝状を贈った。中西社長は「当麻町産の米は、当社でも人気でありがたい。今後も町とさらなるパートナーシップを築いていきたい」と話した。（東桜子）

村椿町長に目録を手渡す中西社長（右）

献血車

旭川（25日）▽コープさっぽろ東光店（午前9時10分～午後4時30分）▽コープさっぽろシーナ（午前9時30分～午後4時30分）

（27日）▽旭川中央警察署（午前9時～午後1時30分）北海道開発局旭川道路事務所（3時～3時30分）JA上川ビル（4時～5時）▽大丸道北支店（午前9時30分～10時20分）大雪土地改良区（11時～11時30分）誠徳園（午後1時～2時）市立旭川病院（3時～5時）

地元産品市況

（23日・旭一市場調べ　標準値、入荷量、単位・円）

▽エフキタケ（100グラム）86円0・1トン▽シメジ（100グラム）81円0・1トン▽マイタケ（100グラム）86円176キロ

旭川ケーブルテレビポテト 22・0707

（24日）

ポテト11ch

09・30　特番▽三浦光世生誕百年記念文学講座三浦夫婦と短歌

11・45　当麻町ニュース(初)

12・00　ポテトにこんにちは▽再

13・00　あさひかわ情報局

13・30　愛別トピックス(初)

16・00　まちぶら道北散歩▽林産試験場の後編をお届けします

17・15　北海道NEWS

ポテト10ch

10・30　ポテトであなたもカメラマン▽劇団氷点華第16回公演

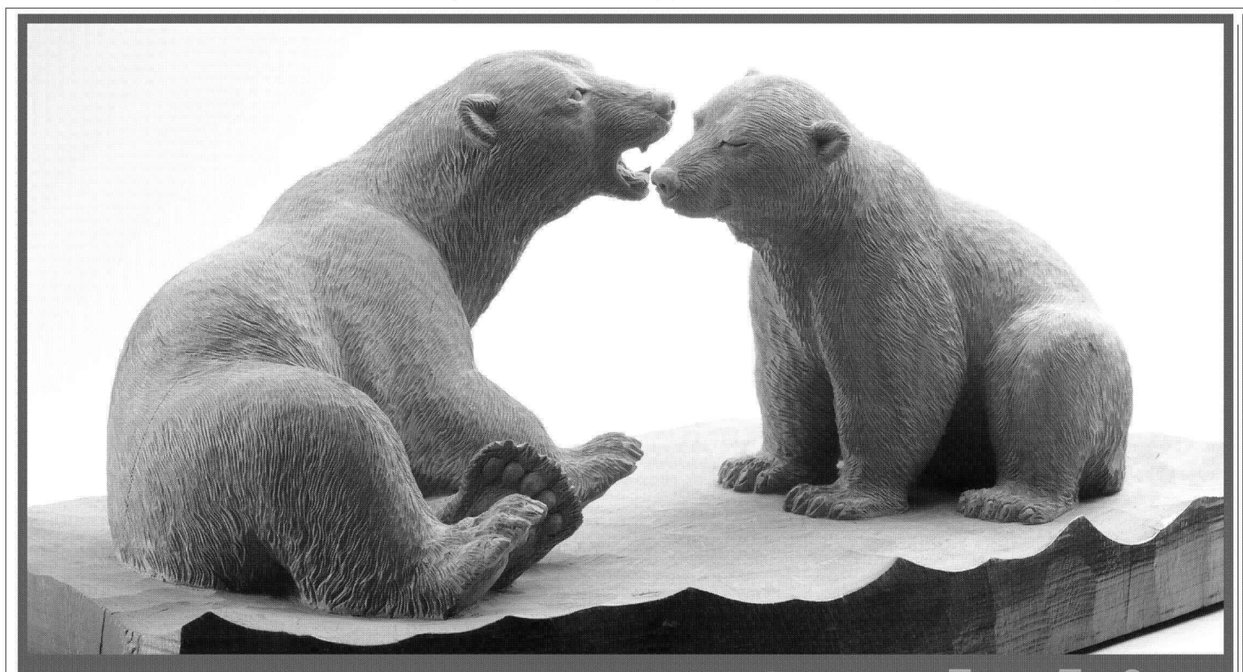
83.7MHz FMりべーる 27・1171

（24日）

10・00　よしみフューチャーD

12・00　『復活』北海道！

13・00　音楽プログラム



The World of FUJITO Takeki

生誕90年記念
藤戸竹喜の世界展

観覧料：一般1,300(1,100)円、高大生800(600)円、中学生500(400)円、小学生以下無料(要保護者同伴)
＊（　）内は前売、及び10名以上の団体料金。＊障害者手帳をお持ちの方等は無料。＊リピーター割引、旭川リンクリンクミュージアムによる割引など、お得な割引料金もあります。詳しくは旭川美術館までお問い合わせください。
主催：北海道立旭川美術館、北海道新聞社、藤戸竹喜の世界展実行委員会　後援：旭川市、旭川市教育委員会
出品協力：鶴雅リゾート株式会社、一般財団法人 前田一歩園財団、正徳寺、一般社団法人 札幌大学ウレッパクラブ

北海道立旭川美術館　〒070-0044 旭川市常磐公園内 TEL. 0166-25-2577

白老巡回展　6月29日(土)～8月25日(日)　国立アイヌ民族博物館(ウポポイ内)

2024 9.14 SAT. — 11.17 SUN.

開館時間：午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)
休館日：9月17日(火)、9月24日(火)、9月30日(月)、10月7日(月)、10月15日(火)、10月21日(月)、10月28日(月)、11月11日(月)
【前売券販売所(9月13日まで)】北海道立旭川美術館、旭川冨貴堂各店、ローソンチケット(Lコード：11633)、セブンチケット(セブンコード：106-234)、チケットぴあ(Pコード：686-985)、セイコーマート(セコマコード：D24091403)、札幌市内道新プレイガイド、道新プレイガイドオンラインストアほか　※9月14日以降、ローソンチケット、セブンチケット、チケットぴあ、セイコーマート、道新プレイガイドオンラインストアでは当日券を販売します。
《白熊》(部分) 1999年 クス 個人蔵　撮影：露口啓二
展覧会公式ホームページ https://event.hokkaido-np.co.jp/fujito

前売券好評販売中！

令和6年度 旭川市大雪クリスタルホール自主文化事業

旭川クリスタル・ブラスコンサート♫
～華麗なるブラスアンサンブルの響き～

2024 9月22日(日)　開演14：00（開場13：30）

一般／1,500円
高校生以下／500円

※全席自由、当日券は各500円増、価格は税込です。ホールメイトは、各10%割引となります。
※3歳未満ひざ上可（無料）ただし、座席を使用する場合はチケットが必要になります。
※車椅子をご利用の方はお申し付けください。
※無料駐車場があります。

旭川市大雪クリスタルホール音楽堂

旭川クリスタル・ブラス
国内有数の優れた響きを誇る大雪クリスタルホールで、金管楽器の持ち味である華やかな音による演奏を披露します。市内の子どもたちとの共演コーナーもあります。

プログラム
※都合により変更になる場合があります。
「ロンドンの小景」：(ゴードン・ラングフォード)
「3匹の猫」：(クリス・ヘイゼル)
「オーメンズ・オブ・ラブ」：(和泉 宏隆)ほか
◆ワークショップ発表コーナー
「宝島」：(和泉 宏隆) ほか1曲

ワークショップ
コンサート当日、「旭川クリスタル・ブラス」と演奏してみたい方を募集します。
対象：旭川市及び近郊に住んでいる、木管・金管・打楽器を演奏する小～高校生とその保護者などでワークショップに参加できる方。
お申込み方法
所定の申込書で8月16日(金)までに申込みください。詳細はお問合せください。

チケット販売
旭川市大雪クリスタルホール 事務室　旭川市神楽3条7丁目　電話／0166-69-2000
旭川市民文化会館 事務室　旭川市7条9丁目　電話／0166-25-7331
玉光堂イオンモール旭川駅前店　旭川市宮下通7丁目　電話／0166-73-8801
コーチャンフォー旭川店ミュージックコーナー　旭川市宮前1条2丁目　電話／0166-76-4002

主催・チケット予約・お問合せ 旭川市大雪クリスタルホール 旭川市神楽3条7丁目 電話 0166-69-2000 共催・北海道新聞旭川支社